



中新川公共下水道事業について

1) 下水道の役割

①生活環境の改善

下水道の役割は、生活に伴って生じる汚水を速やかに排除することにより、汚い水路や道路側溝がなくなるとともに、蚊やハエの発生を防ぐことができ、まちがきれいになります。また、清潔な水洗トイレが使えるようになり、快適な生活環境となります。

②公共用水域の保全

家庭や工場などからの汚水が処理場に運ばれ、適切に処理されて川や海へ放流されるので、公共用水域の水質保全に役立っています。

1) 下水道の種類

中新川広域行政事務組合の公共下水道は、立山町、上市町、舟橋村の公共下水道（以下、公共）と、公共下水道関連特定環境保全公共下水道（以下、特環）があります。

- ① 公共は主に市街地の下水を排除、処理するものです。
- ② 特環は市街地以外の農村や観光地等の下水を排除、処理するものです。

2) 中新川公共下水道の全体計画

中新川公共下水道の全体計画区域面積および人口	立山町	公共	418ha	10,500人
		特環	569ha	13,400人
	上市町	公共	640ha	13,700人
		特環	67ha	1,300人
	舟橋村	公共	139ha	3,300人
	計		1,833ha	42,200人

3) 中新川公共下水道の整備状況

昭和 63 年度から公共下水道工事に着手し、平成 27 年度末までに面積 1,499ha、管渠延長 390km を整備し、完成目標を平成 32 年度としています。

平成 27 年度末現在で、下水道普及率 93.8%、水洗化率 84.4%となっております。

	管渠延長	整備面積	下水道普及率(※1)	水洗化率
立山町	227km	729ha	90.8%	83.5%
上市町	142km	645ha	99.0%	86.6%
舟橋村	21km	125ha	100.0%	99.1%
中新川全体	390km	1,499ha	93.8%	84.4%

※1) 処理区域内人口/全体計画人口で算出値

4) 平成 28 年度～平成 30 年度の概算整備延長及び整備予定箇所

整備年度	整備延長 (m)	主な整備予定箇所	
平成 28 年度	6,800	立山町	下段、日俣、金剛寺、下田、末三賀、野村、鑄物師沢
		上市町	砂林開、片地、丸山
平成 29 年度	4,700	立山町	下段、金剛寺、上金剛寺、向新庄、野村、鑄物師沢、岩嶽野
平成 30 年度	4,500	立山町	下段、金剛寺、上金剛寺、向新庄、鑄物師沢、岩嶽野

※国の補助金又は町村の財政状況等により、整備年度が変更することがありますのでご理解お願いいたします。